

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

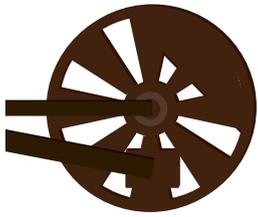
2016

9

2016年8月25日発行
通巻213号

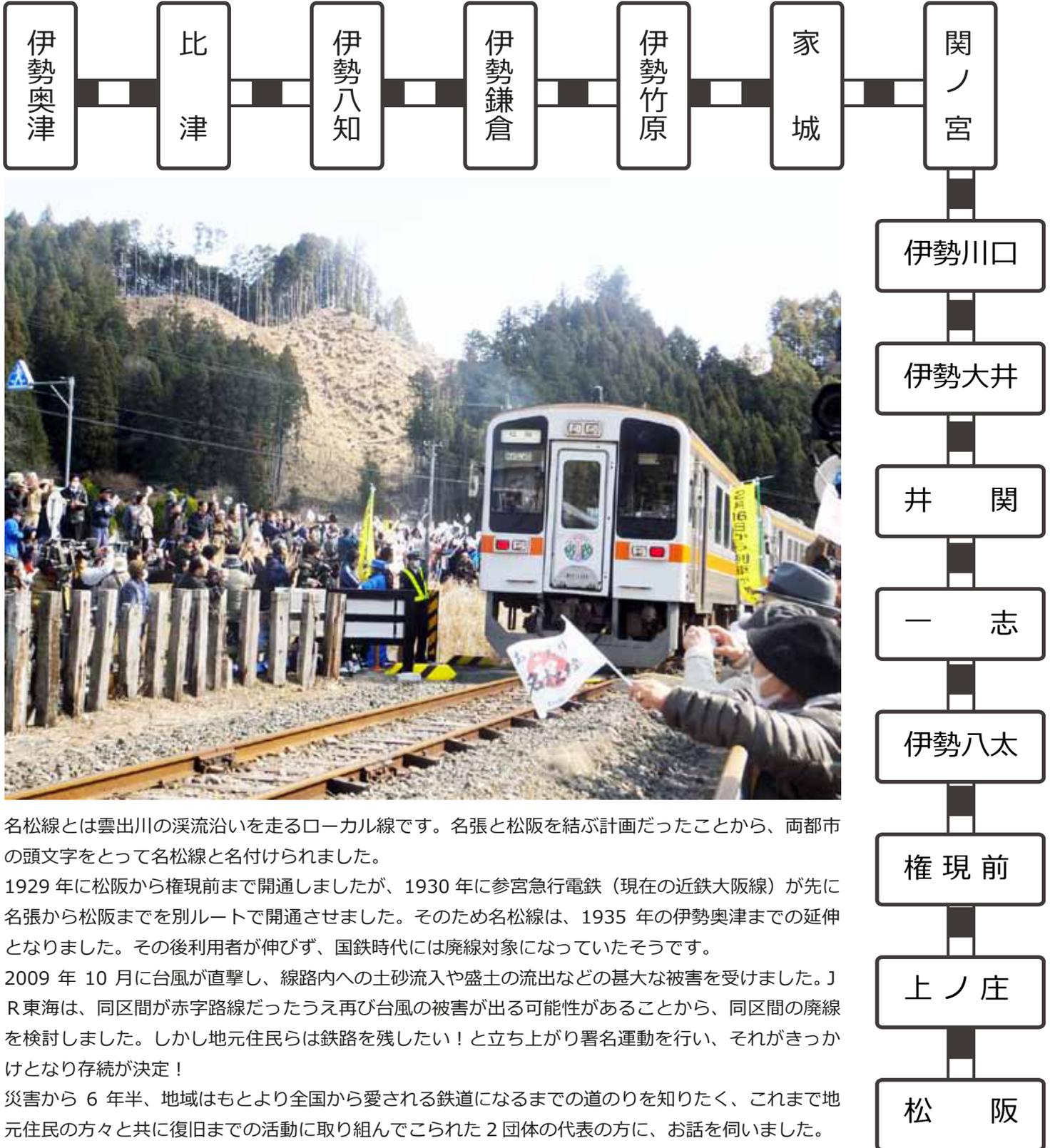
地域の足を守る





2016年3月26日 名松線全線の運転再開！

2009年10月8日台風18号の土砂災害によって、JR名松線・家城駅－伊勢奥津駅間は不通区間となっていました。今年3月26日、6年半ぶりに復旧し運転を再開しました。



名松線とは雲出川の溪流沿いを走るローカル線です。名張と松阪を結ぶ計画だったことから、両都市の頭文字をとって名松線と名付けられました。

1929年に松阪から権現前まで開通しましたが、1930年に参宮急行電鉄（現在の近鉄大阪線）が先に名張から松阪までを別ルートで開通させました。そのため名松線は、1935年の伊勢奥津までの延伸となりました。その後利用者が伸びず、国鉄時代には廃線対象になっていたそうです。

2009年10月に台風が直撃し、線路内への土砂流入や盛土の流出などの甚大な被害を受けました。JR東海は、同区間が赤字路線だったうえ再び台風の被害が出る可能性があることから、同区間の廃線を検討しました。しかし地元住民らは鉄路を残したい！と立ち上がり署名運動を行い、それがきっかけとなり存続が決定！

災害から6年半、地域はもとより全国から愛される鉄道になるまでの道のりを知りたく、これまで地元住民の方々と共に復旧までの活動に取り組んでこられた2団体の代表の方に、お話を伺いました。

名松線を守る会 「名松線を守る会」会長の日高 晃さんにお話を伺いました。



Q. 設立についてお聞かせください。

災害後、名松線（家城－奥津間）は将来的には廃線と打ち出されたことから、当時の美杉自治会連合会会長が中心となり、存続にあたっての運動を始めました。2009年11月19日美杉自治会連合会の組織で「名松線の全線復旧を求める会」を設立するとともに、名松線の早期復旧を求める署名運動を開始しました。地元住民をはじめ三重県内から11万6千人以上の署名を集め、国土交通省、JR東海に提出することができました。その結果、2011年5月JR東海、三重県、津市との間で運行再開に関する三者協定が結ばれ、三重県は治山工事、津市は水路整備工事、JR東海は本線復旧工事に着手し、「名松線の全線復旧を求める会」も復旧工事の側面協力を中心に行っていました。全線開通後は、われわれ住民も存続を守っていかうということで、団体名を「名松線を守る会」に改称し現在に至っています。

Q. 活動についてお聞かせください。

主な活動は、四季折々の景観を楽しんでいただくために、竹林整備や花植えを行っています。名松線を交通手段だけにするのではなく、楽しんで乗っていただきたいと活動しています。また、美杉中学校と協働作業を行っていて、生徒全員が美杉材でプランターを製作し、それに花の植え付けや管理を地域住民とともにを行っています。東京「三重テラス」で開催される展示会にも、数年前から参加し、「名松線沿線写真展」や地域の物産、民芸などを紹介して、奇跡の復活路線として全国にPRをしています。また植樹祭等のイベント時に乗車していただいた方へ、缶バッチやお箸などのグッズをプレゼントして名松線をPRしています。

Q. 今後の活動についてお聞かせください。

景観整備に力を入れて、利用客をお迎えしたいです！乗車促進を行政および関連団体と連携しながら推し進め、地道に活動していきます。現在、会員募集中（一口100円）！名松線に関心のある方ならどなたでも会員になれます！

※伊勢奥津駅構内「津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設・ひだまり」で申込みができます。



名松線を元気にする会 「名松線を元気にする会」会長の中田 かほるさんにお話を伺いました。



Q. 設立についてお聞かせください。

もともとは名松線にSLを走らせたいとの思いで、2010年8月1日に「名松線にSLを走らせる会」を設立しました。発起人は美杉町の方ではなかったのですが、地元の方も含めて約20人のメンバーでスタートしました。しかし、2009年の台風災害による家城－伊勢奥津間が運休のままでいいのか、名松線全線復旧は不可能なのかとの思いで、SLの運行に固執せず、実現可能なことを見据えた活動をするため、2013年4月1日「名松線を元気にする会」と改称しました。今は170名の会員がいて、7割が美杉町以外の方です。

Q. 活動についてお聞かせください。

さまざまな地域のイベントに参加しながら、四季折々の自然豊かな風景の中を走る鉄道である名松線の良さをPRしています。2013年9月22日に第1回伊勢本街道奥津宿の陣を開催。地元の人々も驚きのコスプレイベントなどを行い、約600名の来場者がありました。その後も1960年代のボンネットバス体験乗車、ビンテージ商用車大集合やジャズコンサートなどさまざまなイベントを開催し、県外からもたくさんの方々に参加してもらっています。メンバーが得意とする分野に関連するいろいろな企画を考え、SNS等で頻繁に情報を発信し、それを見た県内外からの参加者がどんどん増えています。皆さんに関心を持っていただけるよう、ユニークな企画をするようにしています。またモミジやクヌギ等の植樹活動や花植え等をして景観づくりにも力を入れ、そのことが必然的に野獣対策活動にもつながっています。

Q. 今後の活動についてお聞かせください。

「奥伊勢本街道奥津宿かわせみ庵」で以前から落語会や盆踊り、植樹祭等の催しをしています。かわせみ庵の代表もしながら、これからも名松線への関心が薄れないように今までと同様発信し続けます。地元住民が熱意を持って、この活動を継続していくことが大事です。止まったら負けです！名松線は美杉の中心軸。これからも名松線と共に走り続けます！！



三重ぐるり MIEGURURI

「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「農山漁村・中山間地域」。まちづくりや、農山漁村・中山間地域に関わる活動をしている団体を、県内の市民活動センターから紹介していただきました。

ほつま 藤原町立田地区 秀真の会

情報提供：みえきた市民活動センター

〒511-0522 いなべ市藤原町篠立 1098 ☎0594-46-3044 ✉yamabikotakaha@i.softbank.jp



「遊学祭」の風穴探検

「共生、協力、共助」をテーマに地域づくりを推進しています。

29年前、地域の児童減少問題を契機に地域とは何か。地域とはどうあるべきか。…議論の結果、まず山村留学制度を導入し子どもたちの活性化を図り、上下水道完備をはじめ企業誘致、住宅団地の造成、生活改善（風習・義理事等）のハード面を実現化し、12年前から「人のつながり」を中心に地域交流事業を強化しています。

私たちの先人が築きあげてきた地域の歴史は大切にしなければなりません。しかしながら現在の社会の動きにも俊敏に反応しなければならないこともあります。このような環境の中でも忘れてはならないもの、大切にしなければならないものがあります。

さまざまな地域文化を体験することで次世代へ伝わるよう活動しています。

「遊学祭」や「収穫祭&もみじまつり」にご参加ください

毎年5月連休末日に秀真の里にて「遊学祭」を開催しております。篠立の風穴探検や、まちかど博物館巡り、地域の方々による模擬店などがあります。

11月中旬は「収穫祭&もみじまつり」を行っています。

特定非営利活動法人 サルシカ

情報提供：津市市民活動センター

〒514-2111 三重県津市美里町平木 770 ☎059-279-2322 ✉info-mail@salsica.com



2016年の田植えイベントでの記念撮影

人口100人を割ってしまった津市美里町平木地区を拠点に、休耕地や耕作放棄地を活用し、コメ作り、畑作りにチャレンジしています。

田植えや茶摘み、野菜の収穫などは、たくさんの人に参加いただけるように体験プログラム化。年間を通じて体験イベントを実施しています。

収穫したお米はイベントや通販で販売し、野菜は当法人が直営する飲食店「おばんざいバルすみす」の食材として使用しています。

また地域コミュニティの強化のためにコミュニティ・カフェを月に一度、地域のボランティアグループと協力して実施。今年9月で3年目を迎えるその「平木やまびこカフェ」は、毎回60名程度が参加。補助金などを使わず、200円の入場料のみで運営されています。

今後は、私たちNPOを通じて、休耕地や耕作放棄地をたくさんの人にレンタルしていく予定で、そのベース基地として、カフェを常時営業していくつもりです。

また野菜や米の販路拡大のため、直営飲食店の拡大も予定しています。

まずはイベントにご参加ください。問い合わせはHPからメールにて

サルシカは、県外の人に三重の魅力を伝える「サルシカ」(<http://www.salsica.com>)、三重の広報支援サイト「ゲンキ3(さん) ネット」(<http://genki3.net>)を運営する他、津市美里町を拠点にして地域づくり活動に汗を流しています。

※お詫びと訂正 2016年8月号「三重ぐるり」内に掲載しております記事内に、誤りがありました。

・READER 4頁「ホットな阿漕浦ネットワーク」電話番号欄

(誤)090-292-9669(柏木はるみさん) (正)090-2929-9669(柏木はるみさん)

読者の皆さまならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

松ヶ崎まちづくり協議会

〒515-2132 松阪市松ヶ崎町 738-1 (松ヶ崎地区市民センター内) ☎ 0598-51-5036 FAX 0598-51-7657



まつがさきまつり「ハゼ釣り大会」

松阪市北部の松ヶ崎地区では、8年前から地区内外の人々の交流、地域産業の活性化を目的に「まつがさき港まつり」を実施しています。まつりのテーマの一つは『海と山の交流』。海に近い松ヶ崎地区では“山の元気が海の健康につながる”と考え、市内の中山間部の住民協議会に呼びかけ、山村の名産品をまつりで販売するなど、他地域との連携に力を入れています。また地域の特色を生かして、親子で楽しめるハゼ釣り大会、現役漁師の指導によるやぐら樽漕ぎ体験、堤防沿いを歩く健康ウォーキングなどを実施。運営には地区の20代若手、子育て中の親世代からお年寄りまで、幅広い年齢の男女が力を合わせ、子どもからシニアまでみんなが楽しめる企画に取り組んでいます。外部PRも積極的に行い、昨年度は来場者のべ約1000人のうち、4割以上を市外・県外など地区外の人々が占めました。地区外の人が多く来場することで、地区内の人々が地域を見直し、ふるさとへの愛着の醸成にもつながっています。

今年の「まつがさき港まつり」は9月25日(雨天の場合は10月2日)に松ヶ崎漁港一円で実施します。詳細は電話でお問合せください。

地元名産のあおさ汁やあさり汁のふるまいも人気の一つ。昨年は地元で採れた小松菜でスムージーを作りふるまいました。産品をただ売るだけでなく食べ方を一緒に提案することで、販売促進にもつなげる工夫をしています。

特定非営利活動法人 南勢テクテク会

〒516-0111 三重県度会郡南伊勢町内瀬93番地1 ☎ 090-7044-3802 (代表 中野) ✉ fujitaya@amigo2.ne.jp



山道の整備

南伊勢町に誰もが気軽に「豊かな自然」と「文化」と「歴史」と「人」に触れ合うための「道づくり」をしています。

町内に残る街道、尾根道、そま杣道を探して、時にはシダを刈り、倒木を切り運び、道をつくり、道しるべを立てていくという活動を20年間繰り返してきました。どの山に登っても海と出合えて素晴らしい雄大な景色を眺めることができます。ハイキング大会、観察会、里山音楽会等さまざまな事業もしてきました。今は標識、案内看板等を設置した山の案内地図もでき、このように整備された南伊勢町の低山は中高年に人気になっています。県外からのバスでの登山者も多いです。

今年は、地図の発行も計画しています。高齢者中心のメンバーではありますが、県内外の仲間、地元の有志の仲間や企業、団体、行政と協働しながら、わが町の山や海に人が訪れるまちづくりをしていきたいと思っています。

メールかお電話ください。

南伊勢町の豊かな自然と文化と歴史と人にふれあう「道づくり」を行い、南伊勢町の魅力をもっと知っていただきたいと思っています。みなさん、是非、お越しください。そして、私たちと一緒に活動をしませんか。

募集のご案内

うたと笑いのコラボ 津サミット

日本笑い学会三重支部は「笑いとユーモア」に関する総合的研究を行い、笑いに対する認識を深め、笑いの文化的発展に寄与することを目的とし活動をしています。パフォーマンスやユーモア・スピーチにとどまらず、支部員の専門分野を超えて交流を深め、さまざまな角度から、笑いについて幅広い分野の支部活動を目指しています。今回は、皆で歌って笑って楽しい時間を共有しましょう。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

ープログラムー

1. 心をうつピアノ演奏 (四国支部支部長 枝廣篤昌氏)
2. ゴスペル (サニーサイドゴスペルクラブ三重)
3. 笑いヨガ (旭・笑いクラブ)

日時 2016年9月17日(土) 14:00～16:30
場所 アストホール (津市羽所町700 アスト津4階)
対象 どなたでも
参加費 無料(予約不要)
問合せ先 日本笑い学会三重支部
電話 090-8187-6022 **FAX** 059-232-6409
メール waraigakkaimie@gmail.com

第1回防災のための親子キャンプ体験教室

東北大震災や熊本地震の教訓から、青少年を持つご家庭に野外活動を体験して頂き、防災で“生きる力を”育むイベントを開催します。防災について各ご家庭の工夫、非常食などについて交流をしながら、防災教育や家庭の絆づくりに役立てる目的です。テント設営、テント泊、飯ごう炊さんなど皆で体験して、地震や災害に備えましょう。

日時 2016年9月24日(土) 14:00 集合
2016年9月25日(日) 11:00 終了
※第2回は10月29日(土)・30日(日)に開催予定です。
場所 津市青少年野外活動センター キャンプ場
対象 家族3～5人(保護者と幼、小、中学生)1組単位にして先着6組限定
参加費 大人2,500円 小・中学生1,500円
幼児(3歳以上)500円
申込方法 電話またはFAXでお申し込みください。
問合せ先 NPO法人みえ親子・人間関係研究会
電話 059-246-5562 **FAX** 059-227-4619

身近な薬草 ～食卓に取り入れてみよう～

私たち人間は自然から多くの恵みを受けています。その中に野草・薬草の効能があります。野草・薬草の利用は春先だけに限られたものではありません。成長した葉や根にも多くの力が秘められています。身近な自然に目を向け、野草・薬草を日常の食卓に取り入

れていく方法を学んでみませんか？

日時 2016年10月15日(土) 10:00～12:30
講師 野村久徳氏(飛騨市役所職員)
募集人数 30名 ※応募多数の場合は抽選。その際、三重県在住の方を優先。
場所 鈴鹿カルチャーステーション 会議室
(鈴鹿市阿古曾町14-28)
対象 18歳以上の方
材料費 500円
申込締切 2016年9月20日(火)
申込方法 郵便・FAX・Eメールのいずれかで、講座の名称「身近な薬草～食卓に取り入れてみよう～」を明記の上、氏名・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号を下記までご連絡ください。
問合せ先 三重県環境学習情報センター
(〒512-1211 四日市市桜町3684-11)
電話 059-329-2000 **FAX** 059-329-2909
メール info@eco-mie.com
HP <http://www.eco-mie.com/kouza/28/yakusou/index.html>

人権のまちづくりのスタートアップ、応援します！ ～すべての人にやさしい人権のまちづくり研修支援事業のご案内～

「人権について学びたい」と考えている地域の研修などに講師やアドバイザーを派遣します。研修内容はご要望に応じます。講師、アドバイザーの派遣にかかる費用は県が負担しますが、研修会の会場の費用や準備は申し込みされる方をお願いします。

テーマ(例)

「子どもの人権」「地域防災活動と人権」「貧困と人権」「人権ってなんだろう～人権の基本を学ぶ」「新聞記事から人権を考える」「職場の人権」「障害者差別解消法」「個人情報保護」「高齢者の人権」「住民同士が支え合う絆づくりのヒント」「市民活動と人権のまちづくり」「居場所と出番をつくる」「相談者の人権」など

対象 まちづくりの協議会や自治会、PTA、NPO、企業などの団体等、人権のまちづくりを進めようとする県民なら、どなたでも利用できます。
申込方法 電子メールに①担当していただく方のお名前、②ご連絡先(電話番号やメールアドレス)、③希望の研修内容、④希望日を記入し、県人権課(jinken@pref.mie.jp)までお申し込みください。お電話でも結構です。
申込締切 先着順※定数になり次第締切り
委託先 NPO法人市民社会研究所
主催・問合せ先 三重県環境生活部 人権課
電話 059-224-2278(櫛田) **FAX** 059-224-3069
HP <http://www.pref.mie.lg.jp/JINKEN/HP/>

SHO ガッコウ

～第1回講座報告と第3回、第4回講座のお知らせ～

7月23日に第1回講座が終了しました！ゲストの藤本遼さん（尼崎 ENGAWA 計画 代表）に、企画づくりで大切にしていることや経験談などを話していただきました。約25名の参加者は、それぞれが企画づくりで大事にしたいことを発表したり、悩みなどをゲストに質問したりと、活発な会となりました。アンケートの満足度も高く、次回に繋がるよい講座になりました！第2回は8月27日（土）に開催します。詳細はHPをチェック！
<http://mieshoggakkou.jimdo.com/>



～参加者募集中！～

第3回 2016年9月3日（土）13:30～16:00 ※

テーマ LGBTのこと

ゲスト 一般社団法人 ELLY 山口颯一さん

第4回 2016年10月1日（土）13:30～16:00 ※

テーマ こころと身の回りの整理整頓

ゲスト 整理収納アドバイザー 加藤千春さん

※ 15:00～16:00の交流会は自由参加

場所 みえ県民交流センター（三重県津市羽所町700 アスト津3階）

対象 三重県に在住または通学・通勤している18～35歳くらいの人

参加費 500円（SHO ガッコウメンバーは無料）

申込方法 ①お名前、②年齢、③お電話番号をメール（mieshoggakko@yahoo.co.jp）にてお送りください。

SHO ガッコウは、三重の若者同士がつながり、1人1人の個性が認められ、周りの目を気にすることなく自分の夢を語り、それに向かって進むことができる社会の実現に向け活動をおこなっています。毎月1回勉強会を実施し、普段出会う機会がない人たちがつながるきっかけをつくります。メンバーは随時募集中！当日申込も可能です！

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター
〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

TEL 059-222-5995 **FAX** 059-222-5971

✉ mieshoggakko@yahoo.co.jp

チラー1グランプリ2016 応募締切間近！

チラー1グランプリとは、三重県内の市民活動団体の【自作チラシ】コンテストです。優秀作品団体にはカラーレーザープリンター等、豪華賞品が贈呈されます！お早めにご応募ください。

応募期間 2016年8月31日（水）まで！

選考方法 Facebook ページでの人気投票と実行委員会による選考会

結果発表会 2016年11月19日（土）13:00～アスト津3階

対象 三重県を拠点とし、非営利で自主的かつ公益的な活動を行う市民活動団体、ボランティア団体など

応募要件

- ・市民活動団体が自作した自主イベント、会員募集などのチラシであること
- ・チラシ製作の過程でパソコンが使用されていること（一部でも可）
- ・著作権法、個人情報保護法などの法令を遵守していること
- ・2016年11月19日（土）に開催する結果発表会に参加いただけること
- ・サイズ、色数、印刷面（片面 or 両面）不問
- ・ご応募は1団体1作品まで

※作品は既存・新規（予定）いずれでの応募も可能です。※選考期間にWeb上で人気投票を実施する予定です。

Web公開可能な作品でご応募ください。詳細は、Facebook【チラー1グランプリ】をご覧ください！

お申込み・問い合わせ reuse-mie@sub.eparts-jp.org

主催 みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム実行委員会

協賛 ブラザー販売株式会社



募金にご協力いただきありがとうございます！

平成28年4月に発生した熊本を中心とする九州地方の地震の支援のため、弊センターでは4/16～6/30の間、募金箱を設置いたしました。利用者のみなさまのご協力により、24,173円の募金が集まり、7/14付で熊本市の「熊本市熊本地震災害義援金」へ全額寄付いたしました。

みなさまの温かいご支援に感謝申し上げますとともに、被災地のみなさまの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

第1回あり方研究会実施！

本年度もあり方研究会を実施します。第1回は三重県内の社会福祉協議会と中間支援団体、NPOスタッフなどが相互に理解を深めるためのきっかけづくりを行います。ぜひご参加下さい。

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。
「地域とともに みなさまとともに」
詳しくはTEL059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21www@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

- ① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

大和証券福祉財団 平成 28 年度 (第 23 回) ボランティア活動助成

- ① 9 月 15 日 (木) 当日消印有効
 - ② 高齢者、障がい児者、児童等への支援活動に取り組む NPO 団体等
 - ③ 1 件の上限 30 万円 (総額 3,500 万円)
- ※平成 28 年度 (第 6 回) 災害時 (東日本大震災) ボランティア活動助成も同時募集中

読売光と愛の事業団 読売福祉文化賞

- ① 9 月 30 日 (金) 当日消印有効 ② 社会福祉の各分野で創造的な業績をあげ、障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加の推進などに貢献している団体、個人
- ③ トロフィーと副賞 100 万円 (6 件)

トヨタ財団 2016 年度国内助成プログラム

- ① 9 月 1 日 (木) ~ 9 月 30 日 (金) 15:00 必着 ② 若い世代とともに地域課題解決に向けて多様な主体が参加する仕事づくりや、事業の担い手となる人材を育てる事業に取り組む団体
- ③ 総額 1 億円 A. しらべる助成: 1 件の上限 100 万円、B. そだてる助成: 上限なし

大和ハウス工業 エンドレス募金支援先団体公募 2017 年度版 (支援テーマ枠)

- ① 9 月 30 日 (金) 必着
 - ② 難病等で長期入院している子どもやその家族への支援活動に取り組む NPO、NGO 団体等
 - ③ 1 件の上限 150 万円 (8 件程度)
- ※ 2017 年度版「一般支援枠」も同時募集中

関西・大阪 21 世紀協会 日本万国博覧会記念基金事業

- ① 9 月 30 日 (金) 当日消印有効
- ② 国際文化交流、国際親善に寄与する活動や日本の伝統文化の伝承及び振興活動等に取り組む団体
- ③ 総額 9,200 万円 A. 国際相互理解の促進に資する活動: 100 万円~1,000 万円 (助成率 1/2)、B. 文化的活動: 100 万円~400 万円 (助成率 1/2) 他

花王・みんなの森づくり活動助成

- ① 10 月 14 日 (金) 当日消印有効 ② 森づくり活動や環境教育活動に取り組む団体
- ③ 1 団体の上限 1 年目 50 万円 (2 年目 50 万円、3 年目 25 万円)

スタッフレーム

まだまだ暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

学生の皆さんは夏休みも終了間近で宿題に追われている方もいるかもしれませんね。私も宿題は嫌だったのでギリギリまで放置してしまい、夏休み最終日にあたふたした思い出があります。最上学年の方は部活も引退され、新しい目標を見つめ直す時期かもしれません。春に続き、周りの環境が大きく変化する時でもあるように思います。

私がこちらにお世話になってから早くも 1 年以上が過ぎました。右も左もわからない私に、みなさんはとても親切に仕事を教えてくださいました。こんな暑い日には、新しい環境に不安や緊張でドキドキしていたことを思い出します。そういう感覚を忘れず、気を引き締めて今後もがんばっていききたいと思います。(茂古沼)

認定した 特定非営利活動法人
(2016 年 7 月 10 日 ~ 2016 年 8 月 9 日 認定分)

<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 Do it 松阪 ② 松阪市日野町 788 番地 ③ まちづくり、観光の振興、経済活動 ④ 2016 年 7 月 11 日 ⑤ 理事長 森下 桂子 	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 えこびれっ ② ネット日本 GEN-Japan ③ 鈴鹿市阿古曾町 14 番 28 号 ④ まちづくり、環境、国際 ⑤ 2016 年 7 月 19 日 ⑥ 理事 片山 弘子 	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 澤村榮治 ② 顕彰会 ③ 伊勢市宇治今在家町 58 番地 ④ 社会教育、まちづくり、観光の振興、学術、人権、子ども、その他 ⑤ 2016 年 8 月 1 日 ⑥ 理事長 牧戸 福司
<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 四日市ダンボールコンポストの会 ② 四日市市桜台二丁目 5 番地 280 ③ 環境 ④ 2016 年 7 月 19 日 ⑤ 理事長 平出 恒志 	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 結結の会 ② 津市久居明神町 1181 番地 ③ まちづくり、学術、子ども ④ 2016 年 7 月 19 日 ⑤ 理事 内田 幸博 	
<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 まがたま育舎 ② 亀山市西尾町 157 番地 ③ 保健、職業能力、障がい者の自立と共生社会 ④ 2016 年 7 月 19 日 ⑤ 理事長 田中 豊顕 	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定非営利活動法人 haleohana ② 員弁郡東員町 大木 3987 番地 大木マンション 1A1 ③ 社会教育、まちづくり、環境 ④ 2016 年 7 月 19 日 ⑤ 理事長 西澤 美由紀 	

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぼどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南)/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

 第三銀行	 三重銀行
 百五銀行 <small>FRONTIER BANKING</small>	 東海ろうきん <small>健全・安心・貢献</small>
 JAバンク <small>三重県下JA/JA三重信連</small>	株式会社 阪本事務機

 環境にやさしい植物油インキを使用しています。